

豊橋発！日本の農業を変えたい！！ WAC 農園プロジェクト

地域から日本各地に拡げていく活動に参加してみませんか！！

この地で、農業不使用の農業を実践してから早16年が経っています。食べ物が人を創ると言いますが、元気な野菜や果物など農作物を頂くことで、病気になる元気がない元気な身体をつくる。

2017年アメリカ始め先進国は、オーガニックに大きくシフトチェンジしましたが、足元の日本は相変わらず、農業使用量世界2位、薬の使用量世界一の不名誉な称号を頂いたままです。

私たちは、これから実践として、農業で実績を残すこの地域だから、ゆるやかな形で、みんなが元気がでる農作物をつくりたい。アメリカやオーストラリアなどの耕作面積は望めないとしても、今の農家1軒あたり2haは小さすぎる。せめてヨーロッパ並の30~40ha規模を持つ農業経営に切り替えていきたい。その実践例を作りたい。旧来の農業基本法は1999年に食料・農業・農村基本法に改訂されましたが、中身は一向に変化しません。

それには、高齢者、障がい者、農家の方や一般市民の方の協力を得て、この国の原点「農本主義」の実践を進めていきたい。農村の文化・伝統と景観を守ることは、今後の地域の発展には欠かすことが出きないと思われま。無機質の都市は、世界どこも同じです。日本のアイデンティティは地方。地方こそ至宝です。

私たちは、今後一度は農地をまとめるため取得することになりますが、形が整えば、その地域にNPOの管理組合をつくり、新しい地主として、地域を守って発展させて頂きたいと考えています。

2007年3月豊橋で第35回日本有機農業研究会全国大会が開催されました。テーマは「自然の叡智に学んで農と食から循環の暮らしへ」2日間参加した後、障がい者の就労に有機農業を取り入れることを決めました。当時、豊橋有機農業の会主宰の松沢さんや平尾さんなどメンバーの方や当時県職員を退職されたばかりの石巻の加藤さんなどの協力を得ながら10月WAC農園を牛川町沖野でスタート。1年半は自らも汗をながしながら1からメンバーやスタッフと一緒に作りあげていきました。今は、WACアグリカフェのエントランスの場所は、当時は苗作りの拠点で野菜のポット苗が一面に広がり壮観でした。夏の夕方水やりに励んだ日々が思い出されます。東大清水のビニールハウスは、骨だけを残した樹木がノッキノキの荒れ放題の荒野でした。メンバーと一緒に約2ヶ月をかけて西部開拓史ならぬWAC開拓記をノートに綴った記憶が懐かしく感じます。今は6.2haの耕作地といえば順調みえますが、実は今大きなターニングポイントに来ています。

今リーダーとなり一緒に活動できるスタッフを探しています。組織はいつもそうかもしれない、人が増えることにより当初のエネルギーというか、ミッションを持ち同じ目的に向かっていった人たちが、組織の中でサラリーマン化して、平均化していくものなのかもしれません。しかし、NPOは、一般の企業と違い、個人の人生を切り開いて行くための総合的なスキルが学べる絶好の場所でもあります。植物学、栽培学、生物学、環境学から医療福祉、販売、マネジメントまでも短期間でスキルアップが可能です。でもひとつだけの条件があります。それは、本人がその機会とその居場所が好きであるか楽しいかです。

加藤政実

★5つのスローガン

- 1. オーガニック** ー無農薬無肥料自然栽培の実践をする。
- 2. 40ha** ーヨーロッパの農家基準の農業規模の維持を図る。
- 3. 新しい地主** ーそこに住む地域の方が地域の景観を維持しながら市民型NPOで管理する。
- 4. 食料自給率** ー食料自給率UP 現在の生産額ベース66%、カロリーベース38%とともに80%をめざす。
- 5. スマート農業** ーロボット技術、ICTの導入を図る。

「人と自然環境に悪いものは使いたくない」という考え方から、私たちは2007年から肥料農薬堆肥を使わない自然栽培に取り組んでいます。

田畑では土だけの栽培で、以下のものは使いません
農薬→無農薬栽培です。

肥料→化学肥料は使いません。

堆肥→牛糞堆肥等は使いません。

ハウス栽培
パパイア、
ハーブ、通年
の薬物野菜

露地栽培
たまねぎ、
にんにく、
じゃがいも
等根菜類

自然農法
お米、
そば（予定）

桑+養蚕業
桑の葉と蚕
の飼育、
桑茶づくり

果樹栽培
有機レモン
桑の実
次郎柿

平飼飼育
やぎ、
鶏（予定）

お問い合わせ

特定非営利活動法人福祉住環境地域センター
WAC農園プロジェクト

〒440-0823 愛知県豊橋市南瓦町14-1

TEL 0532-52-4315 FAX 0532-56-0702 E-mail wac-net@hotmail.co.jp

WAC
NET.